

第28回 全国菓子大博覧会・北海道
あさひかわ
菓子博 2025
SMILE SWEETS HOKKAIDO

スマイルをテーマに北海道スイーツを発信 ～全国菓子博が来年5月旭川市で開催～

お菓子の祭典としておよそ4年に一度開催される「全国菓子大博覧会」。過去100年以上にわたり、全国各地を巡って行われてきた伝統の大イベントが、2025年5月30日(金)から6月15日(日)の17日間、旭川市を舞台に開かれます。同大会の大会長を務める長沼昭夫氏に、旭川で開催される背景や大会への意気込みなどをお聞きしました。

「全国菓子大博覧会」が旭川市で開催されることになりましたが、そもそもこの菓子博とはどのような目的で行われてきたものなのでしょうか。

長沼 全国菓子大博覧会の歴史は古く、1911(明治44)年に東京で開催された第1回帝國菓子始大品評会に遡ります。お菓子業界の活性化と日本の優れた菓子製造技術を未来へ伝承していく事を目的としており、全国の菓子屋さんはこの博覧会に自慢の商品や作品を出品する為に日々研鑽しています。また、大会を通して多くのお客様にお菓子の魅力を再認識していただき、お菓子の力で地域の活性化や平和な社会の実現に貢献する事も重要な目的のひとつです。

菓子博は100年以上続く伝統の大会

「全国菓子大博覧会」が旭川市で開催されることになりましたが、そもそもこの菓子博とはどのような目的で行われてきたものなのでしょうか。



第28回全国菓子大博覧会・北海道
大会長 長沼昭夫氏

Profile

長沼昭夫氏
きのとや創業者・取締役会長、
全国菓子工業組合連合会理事長、
(一財)北海道菓子協会理事長、
北海道菓子工業組合理事長

観光ポテンシャルの高い旭川を舞台に

今回、開催地が旭川市に決まった経緯について教えてください。

長沼 1998(平成10)年の第23回大会が東北の盛岡で開催されて以来、熊本、姫路、広島、三重と、本州の西地区や九州地区で開催されてきたことで、次は東北以北でと言われていました。北海道では今から56年前に札幌で開催されて以来開かれておらず、次は「菓子王国北海道」で開きたいと考えていたことが背景にあります。

旭川は北海道第二の都市であり、魅力的な食の観光資源や旭山動物園などの観光名所に恵まれています。周辺には美瑛、富良野といった観光エリアが隣接し、日本の地方都市の中でも非常に高いポテンシャルを持っている街ということから、次の菓子博開催地として道内で最も相応しいと考えました。

審査、展示から販売、グルメまで盛りだくさん

博覧会ではどのような内容のイベントが行われるのですか。

長沼 最初にお話ししたように、この大会は品評会としてスタートしています。そこで、全国の菓子業者が応募してきた販売用のお菓子を別会場で見学し、優秀な作品には皇族による名誉総裁賞や内閣総理大臣賞などが授与されます。これはメイン会場内に展示発表されるほか、別会場でも販売もされます。2つ目は工芸菓子の展示と表彰です。芸術作品としての和菓子、洋菓子の工芸菓子がメイン会場に展示され、優秀な作品には名誉総裁賞や農林水産大臣賞などが授与されます。

そのほかにも様々な企画を予定されていることと思います。

長沼 来場される方々に喜んでいただけたらというのが「全国スイーツマーケット」です。全国から約1000種類のお菓子が一堂に会し、普段なかなか買えない各地の銘菓をお買い求めいただけます。また、大手菓子メーカーによって出展される「スイーツファミリーランド北海道」では楽しいゲームや、新商品の試食など参加体験型の催しをお届けします。ここではサンプリングのお菓子もいただけるかもしれません。

さらに、北海道の食材を使用した飲食店が出店するグルメコーナーを設けるほか、「北海道まるごと大発見」コーナーには道内各地の菓子店に出店していただき、北海道のお菓子を一堂に集めて菓子博を盛り上げていければと考えています。

原材料の宝庫・北海道は、全国のお菓子のふるさと

「今大会ではどのような事を発信していきたいとお考えですか。」

長沼 北海道はお菓子の原材料の宝庫であり、全国のお菓子のふるさとといっても過言ではありません。博覧会を通して、北海道産の菓子原材料における品質の高さをアピールしていければと思います。また、北海道には美味しいお菓子が豊富にありますから、「菓子王国北海道」も併せてアピールしていきたいです。

最後に、開催に向けての意気込みと、北海道の皆さんに向けてのメッセージをお願いします。

長沼 全国菓子大博覧会は明治時代より100年以上続いていた伝統ある大会です。これを北海道の旭川で開催できることは大きな喜びです。これを機に、お菓子の力で地域を活性化させることができればと願っています。

また、時代の変遷に伴い、大会の在り方にも変革が求められることで、30万都市でも開催できるような、持続可能な菓子博のモデルを作り旭川から発信していくことも使命のひとつです。

そうは言っても北海道の皆さんに楽しんでいただくことが何よりです。プロジェクトメンバーの技術や駆使する様々な技術を取り入れながら、この過去最大のイベントを菓子業界が団結し、「菓子の力」でぜひとも成功させたいですね。



(前列:中央)大会長 長沼昭夫、(後列:右から)総務企画部部長 若井賢治(株)オアシスプライム代表取締役/事務局局長 久木利弘(株)久一代表取締役社長/実行委員長 水上崇(三葉製菓(株)代表取締役)/施設運営部部長 福居裕二(株)福居製菓所代表取締役社長/出展審査部部長 村本寛幸(株)豊屋製菓店代表取締役社長)

会場 道北アークス大雪アリーナ(旭川大雪アリーナ)、道の駅あさひかわ(旭川地場産業振興センター)、旭川市大雪クリスタルホール
主催 第28回全国菓子大博覧会・北海道 実行委員会

第28回全国菓子大博覧会・北海道
あさひかわ
菓子博 2025
SMILE SWEETS HOKKAIDO
2025.5.30(金) ▶ 6.15(日)

入場券の前売りが始まります! 4月27日(土)より販売開始
●前売販売期間/2024年4月27日(土)～2025年5月29日(木) ●普通入場券、デジタル入場券/大人1,200円(当日券1,500円)、中学・高校生1,000円(当日券1,200円)、小学生600円(当日券800円)

本日より 前売チケットは販売開始!

第28回 全国菓子大博覧会・北海道
あさひかわ
菓子博 2025
SMILE SWEETS HOKKAIDO
2025.5.30(金) - 6.15(日)

全国のお菓子が
旭川に大集合!

あさひかわ菓子博
公式キャラクター
シマエ大福

in道北アークス大雪アリーナ(旭川大雪アリーナ)

前売期間 2024年4月27日(土)～2025年5月29日(木)

チケット名	大人	中学・高校生	小学生
前売券	1,200円	1,000円	600円
当日券	1,500円	1,200円	800円

※このほか、特別割引入場券、一般団体入場券がございます。 ※価格は全て消費税込み

【前売券 購入特典】 前売券をご購入いただいた方は、北海道内の店舗・施設にてお得なサービスが受けられます! ※詳しくは公式HPへ

前売券販売場所

- 道の駅あさひかわ売店 ●旭川観光物産情報センター ●旭川商工会議所
- JTBイオンモール旭川西 ●実行委員会事務局 ●道新プレイガイド
- 札幌市民交流プラザチケットセンター

※販売場所が変更になる場合がございますのでご了承ください。
※各販売場所の住所、販売時間、券種などは公式ホームページをご覧ください。

インターネット販売 (2024年秋以降を予定しています)
ローソンチケット、チケットぴあ、道新プレイガイド

第28回全国菓子大博覧会・北海道(あさひかわ菓子博2025)

会期 2025年(令和7年)5.30(金)～6.15(日)
開催時間 10:00～18:00(最終日は17:00まで)
会場 道北アークス大雪アリーナ(旭川大雪アリーナ)、道の駅あさひかわ(旭川地場産業振興センター)、旭川市大雪クリスタルホール

最新情報は公式ホームページ・公式Instagramでチェック!>>>

公式HPはコチラ 公式Instagramはコチラ